

寛永諸家譜

諸流略圖  
藤原氏總括并

内閣文庫	
番號	和 20199
冊數	186 ( 83 )
函號	圖 76 1





寛永諸家系圖傳

藤原姓惣括

神代大祖稟系之圖



天神中之系

國常立系此涉別名也

天八下系

天三下系





天合為

天八百日為

天八百魂為

一説一 天八十魂為

津速魂命

市千魂命

居く登魂命

一説一 真登魂命



天兒屋根為

天照右神天照左神  
乃棟梁春日所のそれ一なり  
八百神中

天押言命

天多祢岐命

一説一 天多祢岐命



宇治津江命

御食津江命

一 宇と小大此字とくふ

伊賀津江命

一 宇と賀と音乃字とれと

梨途江命

神岡膳命

久志宇賀白命

國摩大鹿鴻命

江狭山命

一 説り巨狭山中なる

跨耳命

一 説り雷大匠命とれと



大小橋おほいせうの今いま

阿麻呂あまの今いま郷ごう

阿あ良ら古こ連れん

トと初はつの家の系けい小こはは以い今いまととふふ一い本ほん是これとと除のぞ

大だい人にん大だい連れん

藤ふじ大だい丈じやう

黒くろ田の大だい連れん

常じやう盤ばん大だい連れん

一い本ほん一い般ばんをを盤ばん乃の字じとと丸まると

可か多た能の祐すけ大だい連れん

ああひひをを方かた子こ大だい連れんとと丸まると

御ご食け子こ郷ごう



藤氏諸流乃元祖

元名中臣氏なり

天智天皇八年十月十五日小鎌足を

心大匠より任ぜし同日より中臣姓と

ありしをくわく藤原の氏とす

す

大織冠鎌足

一名小鎌子 正二位

孝徳天皇大化元年より心匠小任じ

天智天皇八年十月十五日大織冠

を授けしをいひこれより大匠職より

任じしをこれより小任じ姓とありしをく

藤原とす

旧月十六日より慶長元年五十六



不比等

右大臣 從二位 氏長者

崇光四年八月三日 薨 年六十三

日年十月 詔 正

一位 贈 文忠公 諡

遊 國十二郡 封

淡海公

武智麻呂

子孫を巻りみえり

右大臣 正一位

天平九年七月二十七日 薨 年五十八

平室字 四年八月七日 詔

右大臣を贈らる

南家 此より 兄弟の家より

ありあり 此より 世人南家と稱す



房前

冬議 從三位 氏長者

天平九年四月十七日小蒙と蒙五十七

日年十月正一位大臣と承くられ

食封二子戸と承くらる

三年宝字四年八月七日小蒙

大臣と贈らる

小蒙のうらめたりるれ等山りあ

比小蒙と稱と

宇合

本名と馬表 冬議 式部 正三位

式家れうらめたりる式部と承と

比式家と稱と

麻呂

冬議 兵部卿 從三位 右京大夫

京家乃うらめたりる右京大夫と承と

比京家と稱と



木楯

大綱たいがう正三位

眞名

子孫こそん甲卷こうまき丙卷へいまき正三位

右大臣正二位

内麻呂

右大臣みぎのちみ從二位

眞夏

子孫こそん庚卷かうまき正三位

冬議ふゆぎ從三位

冬嗣

右大臣正二位 閑院いん大臣ちみ正三位

長良

子孫こそん庚卷かうまき正三位

從二位すいじ權中ごんちゆう紀言きごん



良房

攝政 太政大臣 從一位 贈正一位  
謚一之忠仁公

良方

子孫庚卷  
從五位上 大藏大夫

良門

子孫乙卷

内舍人 從四位上

基經

攝政 關白 太政大臣 從一位 贈正一位  
謚一之昭宣公

忠平

攝政 關白 太政大臣 從一位 贈正一位  
謚一之貞信公



多賴

攝政 右政大臣 小野文子

師輔

右大臣 正二位 九條敏子  
贈左政大臣 正一位

師尹

子孫 廣基 正三位  
右大臣 從一位 小一條 正一位

龜道

子孫 丁 正三位  
関白 太政大臣 從一位

龜家

攝政 関白 太政大臣 從一位



道隆みちたか

子孫丁巻下こそんていまくらみきり

攝政

右大臣

正二位

道兼みちかね

子孫戊巻下こそんごまくらみきり

関白

右大臣

正二位

道長みちなが

攝政

左大臣

從一位

頼通よりとほ

攝政関白さつせうかんぱく

右大臣

頼家よりけ

子孫辛巻下こそんしんまくらみきり

右大臣

從一位

長家ながけ

子孫辛巻下こそんしんまくらみきり

大弼おほのすけ

正二位

湯子ゆまこたしたし



藤原氏諸流略図

甲ノ 小ノ家ノ

山ノ薩ノ流ノ

● 眞名ノ

太ノ大ノ氏ノ 正ノ二ノ位ノ 川ノ邊ノ大ノ氏ノと号ノと

純鳥取ノ

從ノ五ノ位ノ上ノ 中ノ勢ノ中ノ輔ノ



藤成ふじなり。

秀郷ひでさと流乃祖りゅうのそ 子孫しよん西巻しよまき一いち三さん五ご五ご五ご

友嗣ともつぐ

参議さんぎ 右衛門ゑもん督とく 従四位上じゆゐのちがし

高房たかふさ

成安なるやす 中文ちゆうぶん亮りやう 正四位下せいゐのした

山蔭やまかげ。

中細なかつほ气き 民部たみべ卿せい  
伊達いだけ乃の久祖ひさそ

时長ときなが

常流とこなが从より 正四位下せいゐのした



利仁

加藤新藤等此名祖  
子孫已世ヨリ

乙 水家

良門流

良門

心合人 從四位上

贈太政大臣正一位







竹頼

右大辨

為輔

権中納言

説書

権鷹司

右大辨

上校如、凡宅間等此名祖

宣孝

右侍権左

澄光

左京大夫



澄方しやうほう

右馬権左みぎうまごんざ

為房たけふらう

冬議ふゆぎ

長澄ながしやう

同膳守どうぜんしゅ

顯時あきとき

権中納言ごんちゆうなごん

中山の元祖なかつやまのげんそ

中山中納言なかつやまちゆうなごん



藤成

伝珠守

従四位下

能馬取

山麓海乃祖甲卷

真名

丙

秀郷流

水家



豊澤

下野が搦 従四位上 内侍

村雄

下野大掾 従五位上 河内守

秀郷

鎮守府將軍 従四位下 武藏守

とめては列田原とて治とて此  
田原藤太と号しはあき  
遠の字と云

千時

あまひは子時と号し一説し  
鎮守府將軍



千清

將軍右衛門

正頼

下野守 從五位下

於遠

經清

下總國守

直理檢大友

清瀨

淡路國守 押付使

基瀨

右羽佐 押付使

秀瀨

越前守 右軍



於清

從五位下

於後

たをり豊

以後

心藤揆授 心友此祖

季後

たる元

惟後

系圖一々せび

惟賢

於七 一々々々 一列 蒲生郡と 於此 郷此 時の人なり

後網

悠理亮 蒲生乃祖



千常ちんじょう

鎮守府將軍ちんじょうふくわん

左衛門尉ざゑもんゑい

從五位下じゆゐいげ

文脩ぶんしゆ

鎮守府將軍ちんじょうふくわん

口念人くちねんじん

文正ぶんせい

從五位下じゆゐいげ

左衛門尉ざゑもんゑい

乙光おつひかり

從五位下じゆゐいげ

相摸守さうもくしゅ

脩行しゆぎやう

左衛門尉ざゑもんゑい

左衛門尉ざゑもんゑい

近藤の祖こんどうのそ

左衛門尉ざゑもんゑい

左衛門尉ざゑもんゑい

号ななめ



以景

景親

上東門村

鴻田権守

景重

鴻田 八郎太夫

景於

武者所

池原

池田

大友 為盛

大友

豊前守

於平

大友 為重

武者所

武藤 礼 武者所 下 為平 守

武者 守



二清えん

仁邊尉 依友と号す

錦鴻依友と号す

季清よしきよ

康清やすきよ

仁忠尉

仁清尉

義清よしかよ

仁兼尉

鳥羽院乃下小面

赤家一と西河と号す

大室房と称す

助清すけきよ

主馬首 冬列小面と 首取と号す

仁首と号す

あまの白藤と号す



助道

首夜燈寺

於義の臣此郎從七郎の心なり

親清

首夜燈寺 仁孝尉

通清

徳田権守  
徳田此祖

正清

長清尉

義通

山内 刑部丞

山内此祖



公澄えん

従五位下 大守尉

長谷川伊左衛門中野等の祖なつか

経範きん

兵庫助ひら

経秀きん

氏部丞うぢ

秀遠ひで

刑部丞けいぶ

遠義と

筑后守ちくご

義通よしみち

波多野三郎

従五位下

波多野北祖なつか

義経よしか

太元たいげん

有経あり

松田三郎

松田乃祖なつか

義元よしか

伊豫守いよ

家定けさだ

刑部丞けいぶ



秀高ひでたか

山城権守やましろのけんしゅ

義秀よしかず

河村三郎かわむらみさぶろ

河村今村末乃祖かわむらいまむらよすなほのそ

龜光かめみつ

法守府將軍ほつしゆふじん

法興ほつこう

法長ほつちやう

賴仍らいにん

鎮守府將軍ちんしゆふじん

行則ゆきのり

重政守しげまさもり

右田みぎのた

龜仍かめにん

從五位下じゆうゐごひげ

源名正げんなまさ



河守

太田大夫

下野介

河政

太田大夫

河光

太田四郎

河方

下野守

河基

高柳三郎

高柳の祖

政光

小山四郎

下野大掾

物政

下野守

小山友井小の元祖

宗政

中込

淡路守

淡路下



皆川乃祖

朝光

結城

上野

從五位下

行義

政義

下河邊左司

左衛門

政平

小河二郎

小河左祖

成行

足利大友

從五位下

家繼

足利孫左郎



重後ムカシ。

大胡太帛オホコトノ

牛込ウシキのええ祀まつり

有あり繼ついで

足利アソノ七しち良ら

成後ナリノチ

依野ヨノ太司タシ

高たか繼ついで。

山上カミノ五ご帛の

山上カミノ此こゝ祀まつり

俊とよ繼ついで

足利アソノ太た帛の

忠ただ繼ついで  
又また太た良ら

基もと繼ついで。

依野ヨノ太た良ら

依野ヨノのの祀まつり



信綱

木村五郎

孝經

長沼太史

秀基

次郎太史

秀忠

大尾三郎

美濃守

大尾の禮

丁 水家

魚通海

道澄流

師 補

右大臣 正二位

伊 尹

一條 太史



通

園白 右政大臣 從一位

贈正一位 忠義公 中 左 右 好 一 一

堀川殿 左 右

光

右大臣 右大臣 從一位 右大臣 將

東文傳 右 左 門 將

忠 貞 大 臣 左 右 一 一

中 多 此 元 祖

家

按政 園白

道

按政 園白 心 大 臣 從 一 位

中 園 白 左 右 一 一



伴因。

口大臣 從二位

長治二年四月二十四日奉小坐

まゝ右宰相卿下近き所

同日奉四月 勅使とらふりて於小

久野

大森云々亦此元祖

道魚。

宇都宮家乃祖 大久保此元祖 成卷一

見たり



戊 水家

道 兼 流

● 道 兼

關 白 右大臣 正二位

左大臣 正一位 兼 左大臣

兼 右大臣 兼 左大臣

世人 七日 關白 兼 左大臣



兼澄

正二位 中納言 左衛門督  
栗田左衛門督と号す

兼房

中納言 右少将 正四位下  
讃波守 海守

家園

宇都宮守 左衛門督  
宇都宮一家の祖

家綱

八田権守 左衛門督  
左衛門督と号す



知家

宇部守 三良守尉

武者所

大久保守 津野守 岩守 等の元祖

知家

右馬允 四良守尉

筑前守 八田守 等

知重

八田守 三良守尉 紀伊守

小田守 等

光重

小幡守 等

小幡の祖



五知

伊志良 二良為尉

知基

茂本三良

家政

完戸四良為尉

知尚

八田六良為尉

知氏

田中九良為尉

田中此祖

河家

伊賀守

高野



山彦やまひこ

伊達い比ひ元もと祖そ

甲か巻まき一いち三さん三さん三さん

藤嗣ふじつぎ

高たか房ふら

● 真名まな

能馬取のうまどり

己み

水家みづけ

利り仁に流りゅう







則高すなはち

紙中かみちゅう権ごん也なり

助忠すけただ

能光のぶみつ也なり

則季すなはち

権大ごんたい夫ぶ

季高すねたか

権権大ごんごんたい夫ぶ也なり

据此よき禮れい

云家いづみ

從也したがふ位ゐ下した

家助いづみすけ

從也したがふ位ゐ下した

貞宗さだむね

豊ゆたか也なり

林はやし此こゝ禮れい

重光しげみつ

費たか好この也なり

貞正さだただ

漸すすむ也なり



正重

従之位下

在馬附

黒道

加賀女

修理少進

加友乃祖

加賀女

加藤

黒清

加友五

願念

黒慮

加友次

京約

在山上

在山上乃祖







ねね

坂本権介

又田竹田乃祖

剛光

台本一郎

從立権下

剛重

坂本権介

助家

河合権忠

又遠

加藤元

又重

南坂元



実豊まことゆたか。

南友別当 武列ぶりゅうと

古井南友ふるいなんゆうと号と

加賀国藤原合戦かがのくにふじはらのあひはらひのいくさに参り討死うらまひ

成実なりみ

たきつ耐

成河なりがわ

太郎

坂南さかみな号と

成利なりとし。

初筑つづきの四郎

初筑つづきのの祖そ



●  
内麻呂

庚ノ水ノ家ノ  
志ノ夏ノ海ノ  
長ノ良ノ流ノ  
良ノ方ノ流ノ  
師ノ方ノ流ノ



大夏

刑部卿 兼左大臣 参議 従三位  
山陰道 親家使

濱雄

民部卿 従五位下

家宗

参議 右大臣

弘彦

大学頭 日向守 従五位上

繁時

大学頭 筑前守 正五位下



輔道

太宰少貳 左少貳 正五位下

有國

太宰大貳 參議 從二位

資業

式部大輔 左衛門權左 左中辨

冬嗣

從三位 日野三任 日野乃祖

長良

冬議 正三位 權中納言 從二位  
左衛門督 贈右政大臣  
松尾中納言 号良



遠經

從口徑上

右大辨

良範

太宰少貳

筑前守

從中徑下

純友

從父徑下

伊豫掾

三子大村小左元祖

良房

基經

忠平

良方

大藏大輔

糟屋小左元祖

實賴

小野文平

方是... (vertical text on the spine)



師し し

大だい 從じゆ 一いつ 位ゐ 伊い 太たい 子こ 傳でん  
贈くわ 正せい 一いつ 位ゐ 小せう 一いつ 條じょう 大だい 從じゆ 一いつ 位ゐ 伊い 太たい 子こ 傳でん

定てい 時じ

内ない 從じゆ 一いつ 位ゐ 上じやう

實じつ 方ほう

大だい 正せい 中ちゆう 為ゐ 正せい 口こう 從じゆ 一いつ 位ゐ 下げ

長ちやう 快くわい

熊くま 野の 別べつ 當たう  
坂さか 心こころ 礼れい 祖そ



● 頼宗よりむね

右大臣みぎのちみん

從一位よりいゝ

堀河公ほりがわのこう

● 道長みちなが

攝政しやうせい

辛しん

水家みづけ

頼宗よりむね

長家ながけ



後家

右大臣 正二位 大宰右府と号す

宗俊

権大納言 正二位

中御門の一人

基幹

中務大輔

通基

右京大夫

通重

従四位上 丹波守

一條と号す



基家

正二位

權中納言

持明院

基家

從三位

加賀守

持明院

大津乃祖

長家

權大納言

正二位

湯子

道家

教位

從五位下

長

筑前

友本系圖

貞信

次敷

系圖



資通しゆつう

資通しゆつう

資清しゆせい

資清しゆせい

資しゆ

資澄しゆせい

明次めいじ

明次めいじ

久澄きゆうせい

福原ふくはら

福原ふくはら

為澄みゆせい

福寺ふくじ

子こ

宗澄しゆせい

明次めいじ

明次めいじ



壬に南家えけ  
為憲流いっけんりゅう

● 武智麻呂ぶちまろ

加太長かたなが

正一位

乙麻呂おつまろ

從三位

冬議ふゆぎ

治初卿ちしゆけい



是公

從二位 左大臣  
贈從一位 牛尾大臣

雄友

正二位 中納言 中務卿  
民部卿 美作守 播磨守

新河

加賀守

高扶

淡路守

清夏

大少弁

維茂

為憲

從五位下 左助 左少輔  
左少輔 左少輔 左少輔



在り二叔大夫と号し  
二藤二階号小礼

時理

従五位下

時文

相良礼

安本系圖よりこれとの並び  
あはれ時理の弟と稱せ

時信

後河守 従五位下

あはれ時理の令弟なりと云

維清

入江右馬允

従五位下

維仲

二叔大夫



師ウシ喜キ

原ハラ權ケン守シ

原ハラ礼レイ

維イ綱コ

和ワ越セツ口コ良ラ大ダイ夫フ

清セイ綱コ

島シマ邊ヘ權ケン守シ

泰タイ繼ケイ

島シマ部ブ權ケン守シ

島シマ部ブ礼レイ

近キン綱コ

奥ウチ津ツ六ロク良ラ

清セイ定テイ

入イリ口コ權ケン守シ



愚澄ぐすう

入江いりえ氏うぢと大友おほとも

友ともわたりしれとのせび  
あつ記あつししこれあつ

愚光ぐくわう

遠原とほはら

天野あまの友門ともかど

玉神たまのかみ礼れい

愚葱ぐそう

從したが又また從したが下した

遠葱とほそう

淡河あふか権守ごんす

愚貞ぐしん

京義きやうぎ

馬うま三さん郎らう

經義きやうぎ

玄けん香かう三さん郎らう



魚貞いささだ

河内中務丞かみのなかつむろのしやう

惟貞たださだ

船越三良ふねこし さんりやう  
船越乃祖ふねこし のそ

惟景ただかげ

河守かみもり

惟職ただしやく

伊豆國乃押使いづのくにのおしつかい

惟次ただつぎ

右衛門ゑもん

家次いへつぎ

右衛門ゑもん



祐次すけつぎ

武志所むしよ

祐家すけいえ

六良大夫むらやま

祐也すけや

河津二良かづみ

祐道すけみち

河津六郎かづみ

祐成すけなり

善家十郎ぜんか

时家ときいえ

善祇五郎ぜんぎ

祐忠すけただ

河津九郎かづみ



祜經こけい

之友このとも 太衝たいしゅう附つ

祜義こぎ

字作英しやくえい之良のら 字依英しよえい乃禮のらい

祜時ことき

太忠たいしゅう附つ 河東かとうの禮らい

巨勢こせ麻呂まろ

冬議ふゆぎ 式部しきぶ卿きやう 從しゆ之の位ゐ

貞嗣せいし

中細ちゆうさい之の 右大弁うだいべん 從しゆ之の位ゐ

高仁かうにん

文心ぶんしん卿きやう 保藏ほざう 相掎さうき之の下げ



道明ちみん

大細おほこま 大弁おほひん

尹文いんぶん

播磨はりま

永新えいしん

重政しげまさ

中文ちぶん 権亮けんりやう

山井やまのい 三信さんしん

能通のうとう

大業おほわざ

実範じつはん

大守おほし

季急ききゅう

三河さんか 良太夫りやうたふ 号ごう

季範きはん

热田あつた 大守おほし 司し

範信はんしん

上野かみの 大守おほし



憲<sup>のり</sup>約<sup>し</sup>

八條院の判<sup>はん</sup>友<sup>ゆう</sup>代<sup>だい</sup>

範<sup>のり</sup>後<sup>ご</sup>

大學<sup>だいがく</sup>助<sup>すけ</sup>

範<sup>のり</sup>親<sup>ちか</sup>

増<sup>ま</sup>尾<sup>お</sup>冠<sup>かん</sup>者<sup>しや</sup>と<sup>と</sup>号<sup>ごう</sup>以<sup>い</sup> 増<sup>ま</sup>尾<sup>お</sup>此<sup>こ</sup>祖<sup>そ</sup>

季<sup>ま</sup>綏<sup>すい</sup>

右<sup>みぎ</sup>衛<sup>ゑ</sup>門<sup>の</sup>橋<sup>はし</sup>本<sup>ほん</sup> 從<sup>したが</sup>口<sup>くち</sup>從<sup>したが</sup>上<sup>じやう</sup>

實<sup>じつ</sup>惠<sup>ゑ</sup>

進<sup>しん</sup>士<sup>し</sup> 加<sup>か</sup>賀<sup>が</sup>掾<sup>げん</sup>

通<sup>と</sup>憲<sup>のり</sup>

日向<sup>ひやうがほ</sup>守<sup>し</sup> 少<sup>すく</sup>納<sup>な</sup>之<sup>の</sup> 正<sup>ただ</sup>五<sup>ご</sup>位<sup>い</sup>下<sup>げ</sup>  
江<sup>え</sup>名<sup>な</sup>信<sup>しん</sup>西<sup>せい</sup>



長門守高階經敏が子にありて姓を  
あ〜とむるれども子孫にれは姓を  
久保 大道寺にえ祀

矣

文海

諸家歛むる所の系圖元祖ありこれ  
相續ゆるもれりこゝとくれ  
或るにけりて元祖乃名と祀  
誰系の好胤や稱するものある或  
これ称号及ぶ系圖のびは日記  
乃を〜祀述のあやまられしあは















